



「ほっとルーム」だより

第188号 令和6年4月吉日発行
いちき串木野市家庭教育支援連絡協議会
(子どもみらい課内 TEL 33-5618)

入学・進級おめでとうございます

桜の花が咲き誇る中、入学・進級の季節になりました。黄色い帽子をかぶった元気いっぱいの一年生が、保護者やお友だちと一緒に登校する姿や、一学年ずつ進級した皆さんが元気よく登校する姿に、新しい年度のスタートを感じていらっしゃることでしょ

う。一年生の保護者の皆さん、ご入学おめでとうございます。入学・進級を迎えたこの時期は、今までと大きく違う体験をするため、子どもたちは、大人が考える以上に、身体的・精神的にとっても疲れがちです。話をしっかり聴いてあげて、受け止める言葉かけをしていきたいですね。

子育て アドバイス

「あなたが生まれてくれた時、
お父さんも、お母さんも天にも昇るくらいうれしかった」
と子どもに伝えてください。
母性はもちろん、父性もまた、
子どもを育てながら育っていくものです。
子どもを育てながら幸せだと感じられる感覚があってこそ、
本当の意味での母性や父性が育つのです。

広木 克行著 「親と子の絆を深め合う道程」より

母性性

やさしい愛
「包み込む愛」

「ありのままのあなたでいいのよ」と受け入れ、
やすらぎを与える愛。おとうがお兄ちゃんの自
転車を黙って借りてケンカになっても「ごめんな
さい」で解決する情緒の世界。

父性性

きびしさをもつ愛
「切り離す愛」

たとえば、駅に置いてあった自転車に勝手に
乗ったら、泥棒となり、法律で処罰の対象と
なる。家庭の外の世界のルール・法律を教える
論理の世界。

- ▶ 父性性と母性性は一人の人の中に両方ともそなわっているもので、単親家庭でも二つの愛をもって育てることは可能です。また、必ずしも、母親が母性性を持ち、父親が父性性を持っているとは限りません。
- ▶ 生まれてから幼児期までは、母性性に基づいた情緒的なふれあいをたくさんして、親子の間で、愛情と信頼を基にした結びつきをしっかりと確立し、幼児期を過ぎたあたりから、父性性に基づいた規律・義務などの論理の世界を教えましょう。

お子さんに十分な母性的愛情を注いであげていますか？
もう一度振り返って考えてみましょう。

参考文献：波多野 ミキ著 子どもが一週間で変わる親の「この一言」

～ほっとルーム～
(子どもみらい課内)

子育ての中で、気になること等ありましたら、一人で悩まず、
いつでも気軽にご相談ください。一緒に語りましょう。

TEL : 33-5654

FAX : 32-3124



令和6年度も引き続き「子育て」を応援します

「家庭教育支援事業」は心の扉をノックする相談・支援活動です。



家庭教育支援事業は、取り組みはじめて16年目を迎えます。
本年度も家庭教育について、保護者の皆様の手助けになるために、
下記のとおり「家庭教育支援事業」を継続して実施します。

★ 家庭教育支援員による相談活動

- ① 小学校低学年(1・2年生)の長子家庭を訪問します。
 - ・ いちき串木野市の全小学校
 - 1年生長子の家庭訪問(年3回)
 - 2年生の家庭訪問(年1回)
- ② ほっとルームの出前サロン「おあしす」を開設します。
 - ・ PTAの時などに、お茶を飲みながら、子育てや家庭教育について語りましょう。
 - ・ 小学校だけでなく、保育園等でも開設予定です。
- ③ 電話相談や「ほっとルーム」での来室相談もいたします。

★ 企業との連携

- ・ 企業の方々に「ほっとルーム」だよりを配布します。
- ・ 連絡協議会の委員になっていただいております。
- ・ 子育てや家庭教育についての提言をいただいております。

★ 情報紙の発行

「ほっとルーム」だよりにより、家庭教育に関する情報を提供します。

★ 取材・広報活動

各学校の家庭教育学級や、読み聞かせグループ、子育て支援センター等を訪問し、取材・広報します。



★ アンケートの実施

年1回アンケートを行い、取組に活かします。



★ 「家庭教育支援連絡協議会」の開催

- ・ 効果的な家庭教育支援の在り方について協議し、各団体と連携を深め、共通実践していきます。

小学校長代表、市P連代表、市まち連代表、市女性連代表、民生・児童委員代表、商工会議所代表、子育て支援機関・グループ代表等で構成

家庭教育支援チームです

子育てに悩みはつきもの。子育ての喜びや悩みをお聴きし、一緒に考えていきたいと思います。子どもたちの健やかな成長を願って、子育てを応援します。

若松 友子
支援員

尾場瀬 ちなみ
支援員

白石 静香
支援員

領家 ひろ子
支援員

出前サロン「おあしす」を開設しました

2月29日(木)、荒川小学校と生福小学校で、家庭教育学級の閉級式前に1時間程度お時間をいただき、出前サロン「おあしす」を開設しました。参加して頂いた皆様、お話を聴かせて頂きありがとうございました。

荒川小学校

9名の保護者の皆さんが互いに子育ての悩み等を語り合いました。親身になって聴き、共感し、励ましやアドバイス等、お母さん同士が繋がって学び合っている様子が伝わってきました。あっという間に時間が過ぎました。私たちにとりまいても有意義な学びの場となりました。

生福小学校

社会教育課の本車田先生の講話を通して、一人で考えたり、悩んだりするより、皆と語り合うことの大切さを学びました。その後、この一年で子どもの成長を感じたことや、困っていることに対して、皆で話し合いました。短い時間でしたが、子育てのヒントになる話があったなら良かったと思うことでした。

県の相談機関

かごしま教育ホットライン24 ☎0120-783-574
☎099-294-2200※携帯電話からはこちら
24時間子どもSOSダイヤル ☎0120-0-78310
PTAすくすくライン(家庭教育やしつけについて) ☎099-251-0309